

産学官連携への挑戦 2012

徳島大学産学官連携推進部の展開

徳島大学の産学官連携推進部は、徳島大学における知的財産の確保・管理・利用、共同研究や受託研究の管理等、外部資金の獲得のための情報収集・発信等に関する業務など多様な業務を行っています。この推進部の活躍が、徳島大学のますますの発展を左右することになると考えています。もちろん、一番期待していることは、イノベーションを誘導する特許が徳島大学から出願できることで、特に特許料を稼ぐことができる発明・発見を期待しています。どのようにしたら、そのような発明・発見ができるのか？ということについて、様々な意見がありますが、興味あることに、本流よりも注目されていないところから、イノベティブな発見や発明がされることが多いようです。ハーバード・ビジネス・スクールのクレイトン・クリステンセン教授は、著書『イノベーションのジレンマー 技術革新が巨大企業を滅ぼすとき』（1997）の中で、合理的な判断を積み重ねても、イノベーションにより巨大企業が滅ぶことを、イノベーションのジレンマと言っています。例えば、写真のフィルムを製造する会社からデジタルカメラの技術は生まれることはないのです。しかし、デジタルカメラが発明されると写真フィルムの会社は滅ぶことになり、実際フィルムの大手メーカーだったコダックは倒産しました。実際の倒産理由についてはわかりませんが、デジタルカメラの普及は少なくとも一つの原因でしょう。この傾向は、研究でも同じでしょう。本流から画期的な研究は生まれにくい可能性が高いのです。その意味で、徳島大学にも大きなチャンスがあると感じています。本推進部は、研究者を様々なサポートすることが一つの大きな役割ですので、何時でも、何でもご相談いただければ、ご要望に対応していきたいと考えていますので、是非ともよろしくお願い致します。



産学官連携推進部長

野地 澄晴
副学長
研究担当理事

徳島大学 研究者との集い

本学の教員の研究成果を、大阪、東京において、企業及び、一般の皆様定期的に紹介する講演会「徳島大学研究者との集い」を開催しています。大阪では2カ月に1回の割合で、東京では半年に1回の割合で開催しています。平成23年度までに、大阪では12回の開催、東京では4回の開催を重ね、講演研究者は、46人となりました。

これまで、医学、歯学、創薬、食品、ものづくり、ナノテク、レーザー技術等、研究者の活躍する姿を紹介してきました。これからも全学の研究者の活動を順に紹介させていただく予定です。

研究者のシーズ技術と企業の皆様のニーズが結ばれ、新たな産学連携の契機となりますよう本年度も講演会を継続してまいります。関東地域、近畿地域にて活躍される本学卒業生の皆様にも参加をいただいております。弊社ホームページをご覧になり、皆様お誘い合わせの上ご参加ください。



▲研究者との集いの様子

■ メールニュース配信のお知らせ

産学官連携推進部ではメールにてイベント等の情報を発信しております。
メール配信をご希望の方は center@ccr.tokushima-u.ac.jp までご連絡ください。

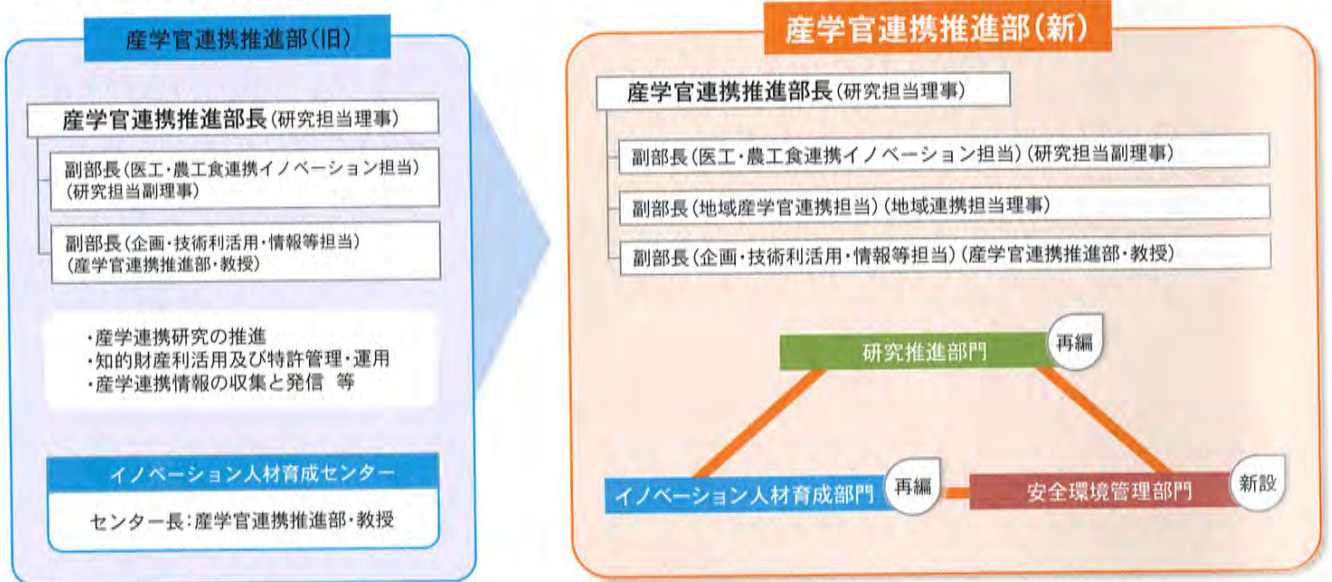


産学官連携推進部の運営体制

運営体制の改組

産学官連携推進部は、本年度前期に体制の変更がありました。副部長として従来の「企画・技術利活用・情報等担当」、「医工・農工食連携イノベーション担当」に加え、新たに「地域産学官連携担当」を設け、佐野正孝理事（地域連携担当）が就任されました。

業務内容について、外為管理や利益相反相談など産学官連携活動における研究者の相談窓口として、平成23年12月に新設した「安全環境管理部門」と、従来の業務を再編した「研究推進部門」「イノベーション人材育成部門」の3部門体制で活動しています。



産学官連携推進部運営体制

研究推進部門

学内外からの産学官連携に関わる相談を受け付ける総合窓口として、産学連携研究の推進、知的財産利活用及び特許管理・運用、産学連携情報の収集と発信等を行っています。

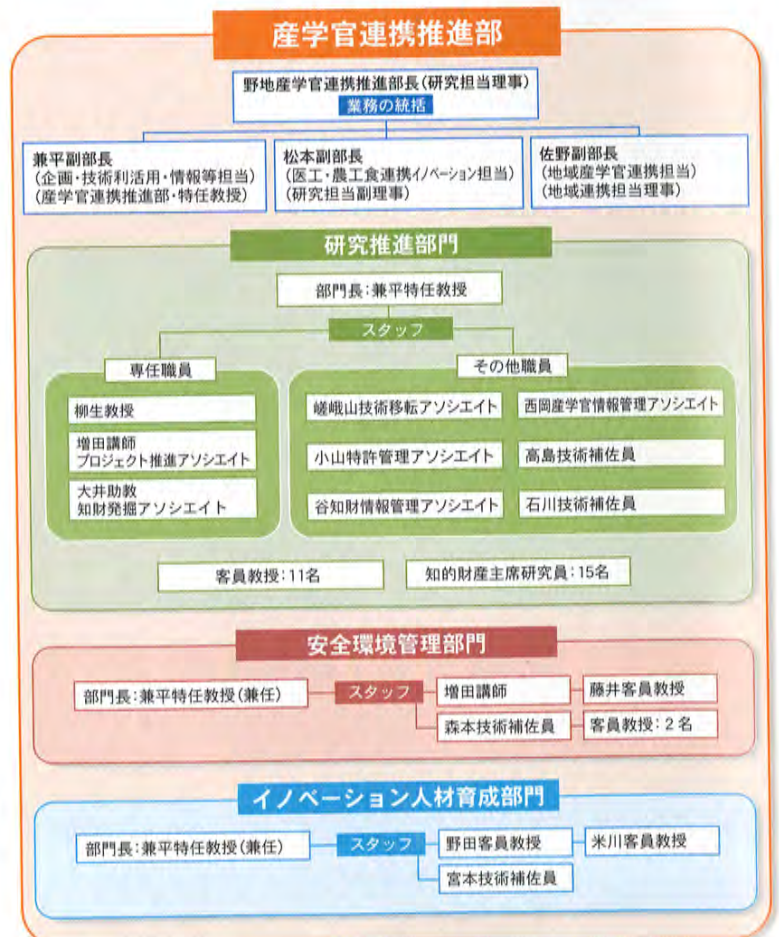
安全環境管理部門

国際社会から大学にも責任ある国際活動が求められ、本学の教員等にも安全保障輸出管理に関する法律(外為法)の遵守が必要になっております。徳島大学においても安全保障輸出管理規則(外為管理規則:平成23年12月1日施行)を制定し、安全な環境下で活発に教育・研究活動ができるよう外為管理を行うこととなりました。

安全保障輸出管理の他にも利益相反管理、教員及び学生の研究成果守秘義務契約の管理等を行っています。

イノベーション人材育成部門

社会人を対象にもつくり企業における現場力と経営戦略構築力を兼ね備えた人材を育成・強化することを目的として、中小企業の技術職員の人材育成、技術教育プログラムの開発、講演会等の実施等を行っています。

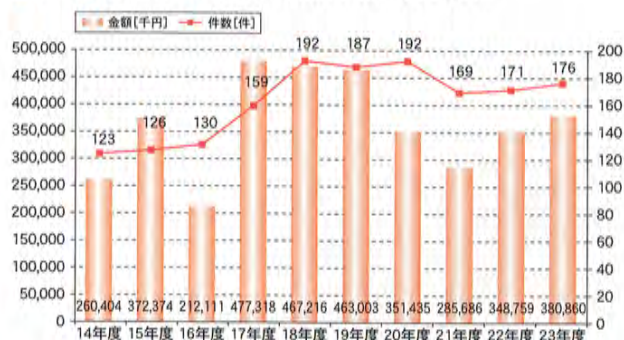


研究推進事業（共同研究・受託研究の推進）

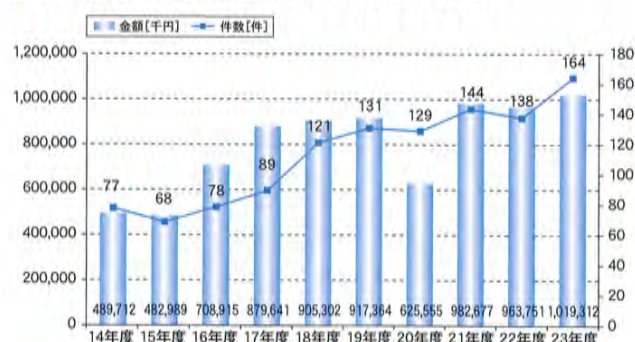
産学官連携推進部のアソシエイトと客員教授らが学内外を丁寧に個別訪問し、ニーズ・シーズを詳細に、幅広く発掘・収集し、共同研究や受託研究の推進にあたっています。マン・ツー・マンの個別対応により、大学内や産業界の活きた情報がリアルタイムに産学官連携推進部に集約され、質の高い産学連携のマッチングを実現しています。

※件数、金額については産学官連携推進部調べ

■共同研究(受入金額・実施件数)年度推移



■受託研究(受入金額・実施件数)年度推移



知的財産管理事業（特許相談・特許出願）

国内出願件数で見ると、平成21年度、22年度と盛り返してきていましたが、平成23年度は再び減少となりました。今後も学内シーズの発掘を継続し、産業界で活用される強い特許に繋げていきたいと思えます。

■特許相談・特許出願件数 年度推移



産学官連携事業（技術移転）

大学内で生まれた研究成果を企業へ移転する活動も行っています。展示会や研究発表会の開催、産学官連携推進部アソシエイトによる企業への紹介活動などを通して、企業と研究者との連携を推進しています。

■技術移転の累計



国際展開

平成24年度から米国拠点 UT Silicon Valley Branch を本格運用しています。米国内に拠点を持つ日本の大学間の連携組織である JUNBA（Japanese University Network in the Bay Area）とのネットワークを強化し、また、インターンシップ等の産学連携の視点から、学生・教職員・地元社会人へ地域の活性化を先導できる国際イノベーション人材育成を目指しています。平成24年度は、産学官連携推進部内のイノベーション人材育成部門を中心に、現地との遠隔授業・海外研修・インターンシップ等を試行し、地域に役立つ国際イノベーション人材育成を総合的に発展させたいと考えています。

平成24年度前期	国際プロフェッショナル概論	15回
平成24年度夏季	海外研修基礎コース in カリフォルニア	7日間
平成24年度夏季	国際プロフェッショナル養成プログラム	30日間

産学官連携事業（連携活動・広報活動）

■イノベーションクラブ講演会

学外において活躍する人々を招いて、地域の産学連携の促進、さらには、イノベーション創出を目的に意見交換もできる講演会「イノベーションクラブ講演会」を開催しています。

講演者は、国内はもとより、米国にて活躍する人にも来校いただいております。平成17年度より開始し本年度で8年目を迎えます。平成23年度は「中国で成功するためのコミュニケーション術」、「日本のエネルギー政策」、「外から見た日本」に関する講演会を開催しました。

本年度も引き続き、皆様に多彩な話題を提供いたします。18:00からの開催ですのでお仕事後にもご参加可能です。企業の皆様、本学の学生さん、教職員の皆様の参加をお待ちしております。



◀講演会の様子
「東京スカイツリーのデザイン」
平成24年10月18日開催

人材育成事業（産業人材育成講座）

■人材育成事業（産業人材育成講座）

徳島県の企業にて活躍する皆様のさらなる研鑽を支援するために人材育成講座を平成17年度より開設しています。本年度は徳島県企業立地人材育成強化事業に採択いただき、徳島県との強力な連携のもと講座を運営しています。

平成24年度は専門技術講座、生産管理講座、経営管理講座、インターンシップ講座といった、企業ニーズの高い講座を揃えました。講師には国内外でご活躍されている経営者、技術者、研究者にお越しいただき、要素技術、経営管理、ビジネスコミュニティプラン作成等、多分野を網羅した研修コースを開設しています。

受講ご希望の方は下記までお問い合わせください。

■徳島県企業立地人材育成強化事業「産業人材育成講座」

プログラムⅠ	専門技術講座	6/14～7/12	全4コマ
プログラムⅡ	生産管理講座	7/19～9/13	全7コマ
プログラムⅢ	経営管理講座	9/20～11/1	全8コマ
プログラムⅣ	インターンシップ(講演付工場見学会)	11/8～11/29	全4コマ



▲産業人材育成講座開校式の様子

■お問い合わせ先

<イノベーション人材育成部門> TEL:088-656-9884 FAX:088-656-9313
E-mail: jinzaicenter@ccr.tokushima-u.ac.jp

編集・発行
お問い合わせ
連絡先

〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地
徳島大学 産学官連携推進部 部長 野地 澄晴

電話:088(656)7592(総合窓口) FAX:088(656)7593
E-mail:center@ccr.tokushima-u.ac.jp URL:http://www.ccr.tokushima-u.ac.jp